

平成20年8月1日

沖縄県立学校事務職員協会  
会長 又吉伸子 殿

第61回全国公立高等学校事務職員研究大会研修報告書

学校名 沖縄工業高等学校  
職氏名 主任 喜友名 正光

みだしのことについて、次のとおり報告します。

期 間	自平成20年7月24日 ~ 至平成20年7月25日
場 所	愛媛県県民文化会館
報告事項（別紙不可）	
文部科学省 講話	講師職氏名 職名 文部科学省初等中等教育局初等中等教育企画課 専門官 氏名 大川 晃平 内容 「教育改革の動向」と題して基調講演が行われた。 教育振興基本計画について 子どもの学ぶ意欲や学力・体力の低下、問題行動、家庭・地域の教育力の低下などの課題が発生。「少子高齢化」・「環境問題」・「グローバル化」など国内外の状況の急速な変化。教育の果たすべき使命を踏まえ、改正教育基本法において新たに明記された教育の目標や理念の実現に向け、「教育立国」を宣言し、教育を重視し、その振興に向け社会全体で取り組むことが必要。 学習指導要領の改訂について 基礎・基本を確実に身に付け、いかに社会が変化しようと、自ら課題を見つけ、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力。自らを律しつつ、他人とともに協調し、思いやる心や感動する心などの豊かな人間性。たくましく生きるための健康や体力など「生きる力」をはぐくむ。 授業時数の確保などが必要。 感想（ <del>講話や分科会発表が学校現場でどのように活用できるか</del> ） 昨年あたりから「ゆとり教育からの転換を図る」ということをよく耳にしていたが、学力・体力低下、問題行動、格差社会・・・など社会問題を教育現場においていかに取り組むべきかということに興味があった。「生きる力」の育成には教員の、生徒と向き合う時間の確保がひとつの手段であるとのことであった。私の学校現場において見聞きしている限り、教員は事務処理や部活などに忙しく生徒と関わる時間をもつことが難しいようである。文書の收受・発送、物品の管理、IT環境の整備など、本校でもさまざまな業務を教員がおこなっているが、これらを補完するためにも事務職員の役割は小さくはないと思った。私も微力であるが、社会の健全化に貢献できるようになりたいと感じた。

分科会	<p>内容</p> <p>メインテーマ「学校運営の合理化と情報の活用」 サブテーマ「情報処理の標準化と効率化を求めて」</p> <p>研究発表</p> <p>危機管理について～その時あなたは対応できますか～ 岐阜県 現在の行政は何をしたかではなく、何をしなかったかが問われるようになってきている。(1)自然災害が起きたときの避難場所として学校を開放したときの対応。(2)不審者が侵入できないようにするための対策また、進入した場合の対応。(3)個人情報を適切に管理するための対策。主に以上の3点についての研究発表であった。</p> <p>PCを利用した産休・育休事務処理の簡素化 北海道 近年、女性の社会進出に伴い女性職員の割合が増加し産休・育休事務が増加している。パソコン上のエクセルを利用して、出産予定日等を入力することにより産休及び育休の期間を自動的に算出し、人事所管課への申請書類を自動的に作成するファイルを活用するための実践発表であった。</p> <p>社会保険等の事務手続(改訂版) 長崎県 医療保険、年金保険、介護保険、労災保険、雇用保険とすべて社会保険の事務手続きについて網羅した研究発表であった。これを参照することで、ひととおり社会保険事務は完成することができる内容であった。</p> <p>基調講演 「情報社会における犯罪の現状と課題」 講師 愛媛県警察本部 生活安全部生活環境課サイバー犯罪対策室 上席係長 杉野 昇 現在、全国的に問題となっているサイバー犯罪について、愛媛県下の状況を交えて講演していただいた。出会い系サイトの問題。不正請求の問題。違法有害情報閲覧の問題などの紹介であった。</p> <p>シンポジウム 「情報の活用と管理をする上で、今、大切なこと」 パネリスト 基調講演講師 杉野 昇 伊予銀行コンプライアンス統括室 室長 野中 茂 四国がんセンター 事務部長 大庫 隆雄 パネリスト3氏、それぞれの勤務先における、保有している個人情報について、管理の方法、廃棄の手続き、手段等具体的に事例の講話があった。</p> <p>感想(講話や分科会発表が学校現場でどのように活用できるか) まず、午前中3件の研究発表がありました。いずれもよく研究されており、大変勉強になりました。特に、「危機管理について」(岐阜県)の研究における、自然災害時学校開放したときの対応については、私自身これまで意識したことがないものであり参考になりました。内容は、避難者の飲料水の確保、学校内の案内図の作成、避難者の名簿作成のための筆記用具の準備などの心構えが必要とのことでした。また、電子情報の管理について、流出するようなことがあると取り返すことが難しく対策を十分にとる必要があるとのことであり、あらためて身の引き締まる思いでした。</p>
-----	---

